

【開催概要】第1回道央ロジスク

物流事業者、行政、学識経験者等で構成する「共同輸送・中継輸送実装研究会」において、物流事業者同士が共同輸送・中継輸送の実現に向けて話し合うマッチングイベント「ロジスク」※を、令和5年10月6日に旭川で開催した「第1回道北ロジスク」の続編として、道北で生産された農水産品等の受け手側となる道央側で初開催しました。

※「ロジスク」とはロジスティクス+スクラムを意味する、共同輸送・中継輸送実装研究会による造語です。

- 日時 令和5年12月4日(月) 14:00~17:00
- 場所 NCO札幌ビル11階会議室(札幌市北区北7条西1丁目2-6)
- 出席者 物流に課題を抱える物流事業者や荷主企業(20の企業、団体等から38名が出席)
(※ワークショップ:15企業等・29名、オブザーバー:5企業・9名が出席)
- 内容

- ①広くマッチング先を見つけるテーブル
事務局が予め指定した3, 4社程度のグループに分かれて、20分ごとのローテーションを4回実施し、交流・意見交換。
- ②特定先との商談を次の段階に進めるテーブル
「第1回道北ロジスク」等においてマッチングの種が見つかった事業者間で共同輸送・中継輸送等のより具体化に向けて1対1形式で商談。
- ③交流時間
参加企業、団体等の間で自由に交流できる時間を設定。

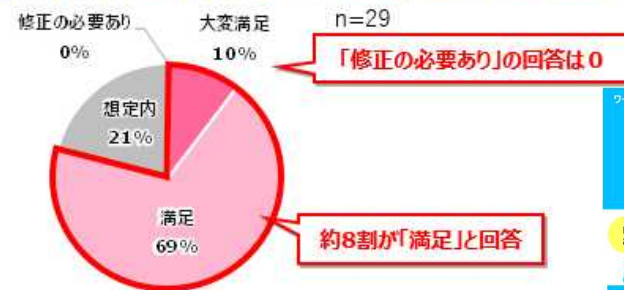
議題

- ・季節変動(ある時期は荷物が多いが、ある時期は荷物が少ない状態)、片荷輸送(産地からの荷物はあるが、産地への荷物がない状態)など農水産品特有の課題を抱える事業者同士が互いに荷物を補い合うことで積載状況を改善
- ・事業者同士が協同し、トラックドライバーの長距離・長時間輸送の軽減につながる中継輸送を実現
- ・加工、輸送、保管、通関等の物流の一連の流れに必要な機能を事業者同士が補完、あるいはモーダルシフト等の輸送手段の転換により各事業者の抱える課題を解消 等

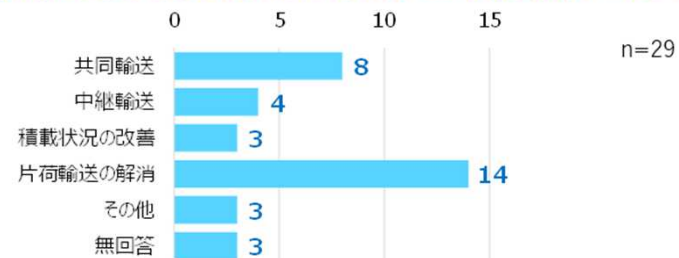


5 アンケート結果

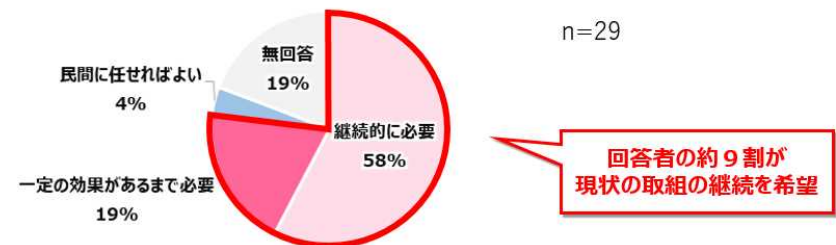
Q. 第1回道央ロジスクの全般的な満足度はどうでしたか？



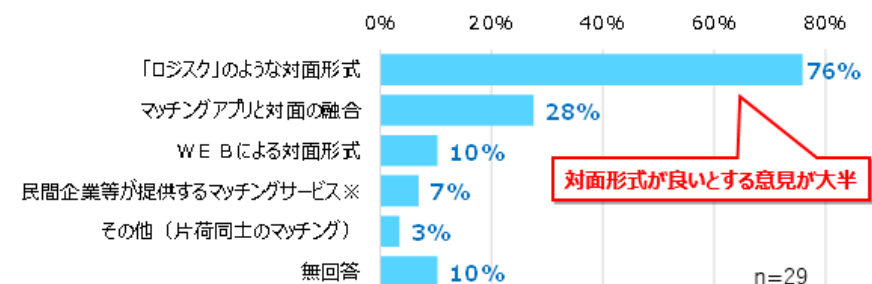
Q.「第1回道央ロジスク」を通じて実現しそうな取り組みはございましたか？(複数回答)



Q.ロジスクのような取組は、継続的に必要と考えますか？



Q.今後の、よりよいマッチングのあり方(形式)についてお伺いたします。(複数回答)



※物流事業者同士のマッチング支援をPC上で行うサービス